



オムニバスセッション 知の形成史

【ハイブリッド開催】

第5回 2022 11/11 [金] 16:40～

ハイブリッド開催 E-A-239会議室 / ZOOM

どんな分野でもそうですが、「人文社会系」、もっと大きく「文系」としてくられる学問の中にも、多様な方法と目標・関心を持つさまざまな研究領域が広がっています。しかし、それぞれの研究領域は、初めから現在の形で個別に独立して存在していたものではありませんでした。そこには少なからず、人々の知的好奇心に導かれながらも、時代の移ろいや、それにとまなう社会の要求にも応答して分化してきた経緯があります。

本シリーズではいま一度、それぞれの領域の「出来(いでき)はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問いなおすことを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。



本企画は、Kyushu University Asia Week 2022の一環として開催します。

前原 志保 九州大学人間環境学研究院 助教
 教育学部門

地域研究のススメ 台湾という「場」の おもしろさ

子供の頃、政治家の自伝を読むのが大好きで日本の大学の政治学部に進学しようと思っていた研究者が、ご縁がありカナダの大学に進学したことで中国、台湾地域研究に出会い、その後イギリス、台湾の大学院という場所を経て台湾の政治(政治家)、ナショナル・アイデンティティ、ジェンダー研究にたどり着いたという経過と台湾という「場」を研究する面白さ、そして2017年からスタートし現在6年目をむかえた九州大学台湾スタディーズのこれまでの取り組みについてお話できればと思います。

【聞き手】中島 琢磨 九州大学法学研究院 准教授

【司 会】蛭沼 芽衣 九州大学人文科学研究院 助教

参加申込

下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いします。zoomでご参加の方には折り返しアドレスとパスワードをご連絡いたします。
http://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_16.html ▶



【主催／お問合わせ】九州大学人社系協働研究・教育コモンズ Email:enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp